

## LinkRunner の活用例

### 1. パッチ・ケーブルまたは敷設済みのケーブルをテストするには

#### パッチ・ケーブルの場合



LinkRunner の“LAN”と“MAP”ポートにパッチ・ケーブルをループの形で取り付ける

#### 敷設済みケーブルの場合



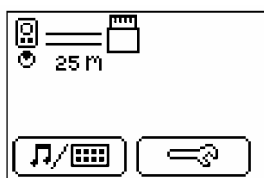
LinkRunner の“LAN”ポートにケーブルの片端を取り付ける

もう片端には付属の WIREMAP アダプターを取り付ける

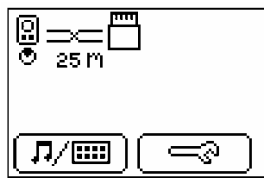
情報  
コンセント

#### ケーブルのテスト結果例

##### 問題なし

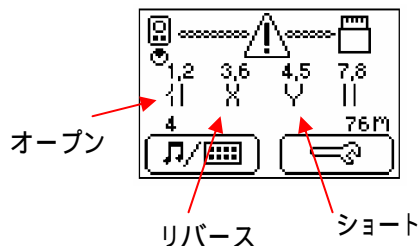


ストレート



クロス

##### 問題あり



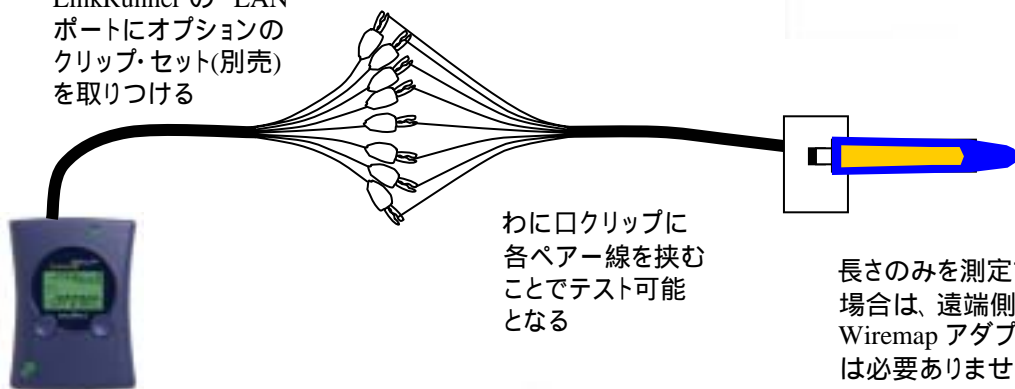
オープン

リバース

ショート

### 2. 加工前のケーブルまたは110ブロックからテストするには

LinkRunner の“LAN”ポートにオプションのクリップ・セット(別売)を取り付ける



わに口クリップに各ペアー線を挟むことでテスト可能となる

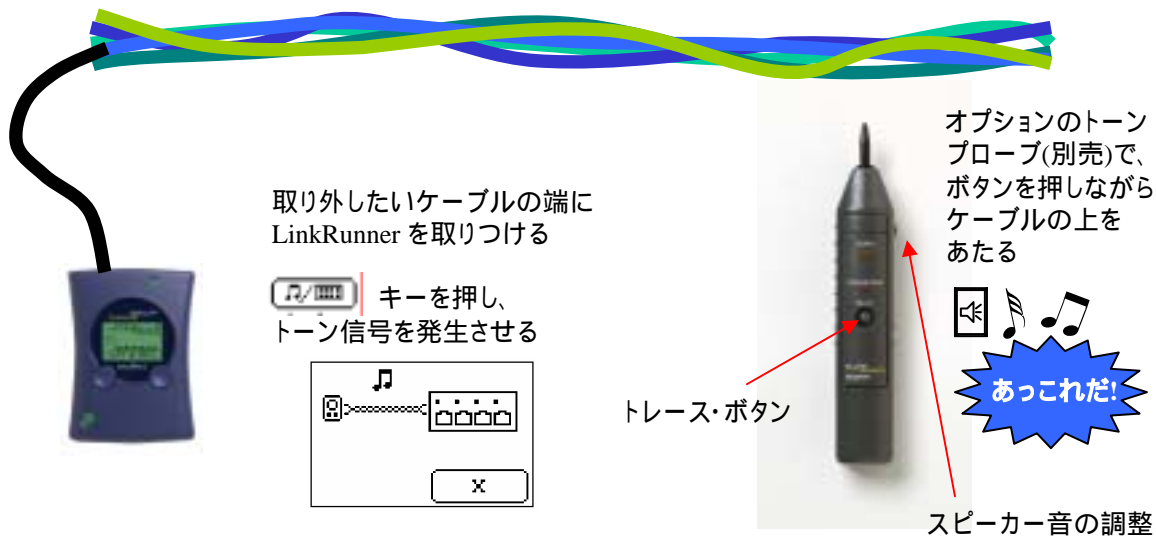
長さのみを測定する場合は、遠端側の Wiremap アダプターは必要ありません

ワイヤーマップ・アダプター



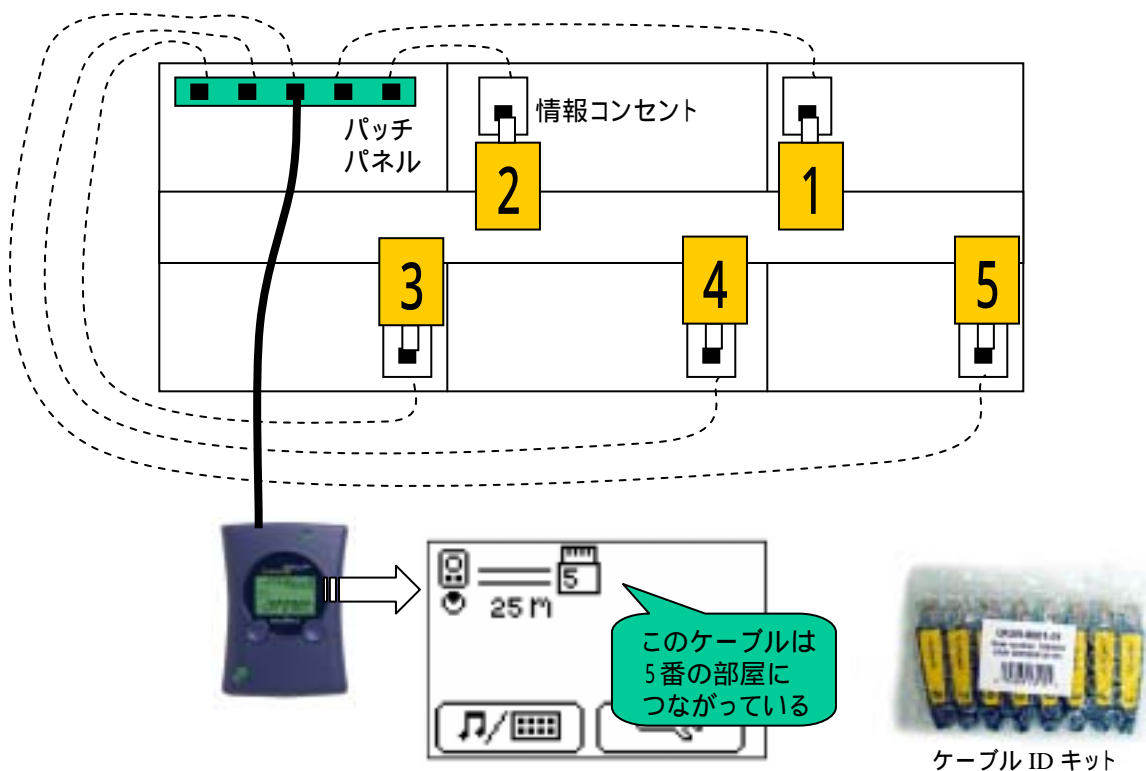
クリップ・セット

### 3. ケーブルを取り外したいのだけれど、束ねてあるのでどれだか探すのに手間がかかる



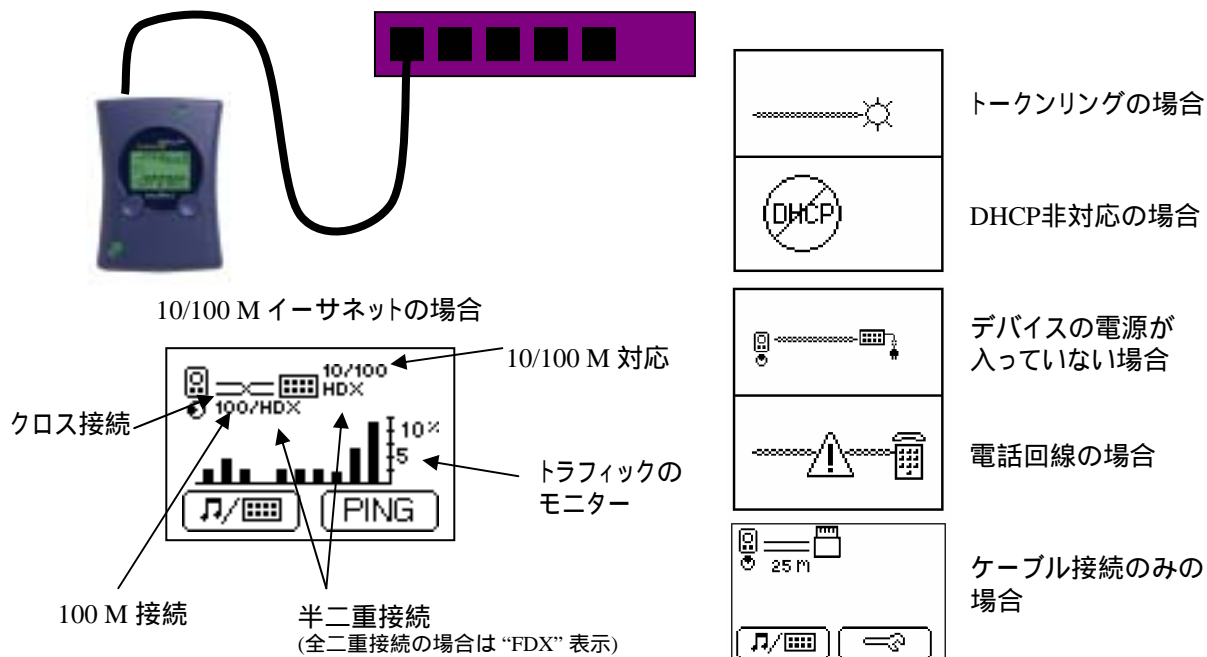
### 4. どの部屋にケーブルがつながっているのか分らない

各部屋にオプションの ID ユニット(別売)を取りつける  
集線室にて LinkRunner をパッチパネルのポートに取りつける  
LinkRunner の画面に ID ユニットのアイコンとその番号が表示される

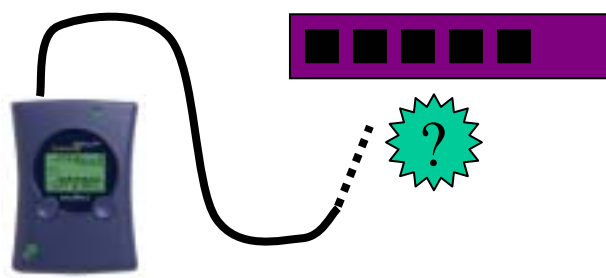


5. ネットワークの信号がきているかどうかを確認するには

LinkRunner の LAN ポートを情報コンセントまたはハブ・ポートに接続する

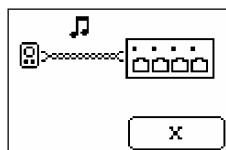


5. どのハブ・ポートに接続されているか確認するには



LinkRunner の LAN ポートを確認したいケーブルに接続する

キーを押し、  
トーン信号を発生させる



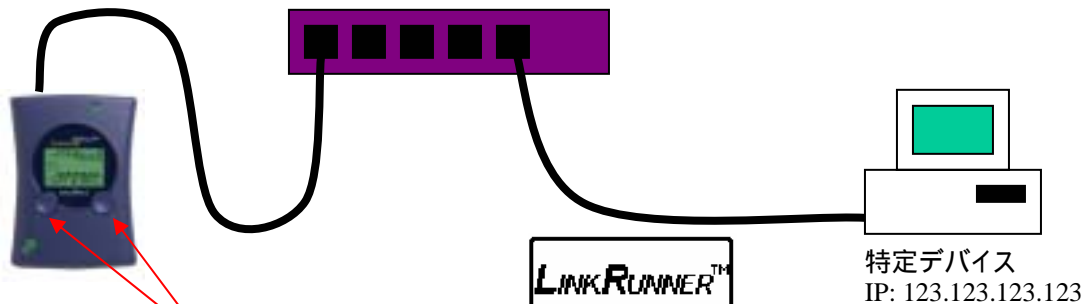
ハブのリンク・パルスの点滅  
によりポート番号が確認できる



## 6. 特定デバイスとの通信が可能かどうか確認するには

ピング機能を実施することで LinkRunner と特定デバイス間の疎通とその時間を確認できます。

LinkRunner の LAN ポートを情報コンセントまたはハブ・ポートに接続する



LinkRunner の 2 つのボタンを同時に押す

キーを押し、特定デバイスの IP アドレスを設定する

DHCP 機能を利用するか  
どうかの設定

特定デバイスの  
IP アドレス設定



この画面は特定デバイスの  
IP アドレス設定のアイコンが  
選ばれています。

カーソルの移動

各項目の設定ボタン

LinkRunner やサブネット・マスク、デフォルト・ルーターの IP アドレス設定

キーを 1 回押し、次に キーを押す

キーを 1 回押しデバイス番号を 1 にして、次に キーを押す

特定デバイスの選択  
0 ~ 4 まで選択可能

IP アドレスの設定



この画面は IP アドレス設定の  
アイコンが選ばれています。

キーを押し、  
IP アドレスを設定する



この例では IP アドレスを  
123.123.123.123 に設定する

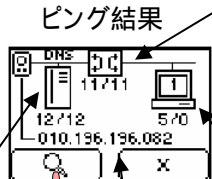
カーソルの右移動

数字のカウント・アップ

ピングを実行します



初期画面



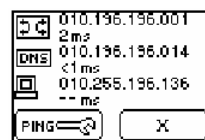
ピング結果

ルーター

サーバー

LinkRunner の IP アドレス

ピングの詳細



特定デバイス (この例では 5 回ピングを送ったが  
一度も応答が得られなかったことを  
示しています)

## 7. RJ45 カブラー

ケーブルの RJ45 プラグとワイヤ - マップやケーブル ID の RJ45 プラグとを接続する場合に使用する RJ45 ジャック-ジャック・カブラー



## 8. 充電式バッテリーおよびバッテリー・チャージャー

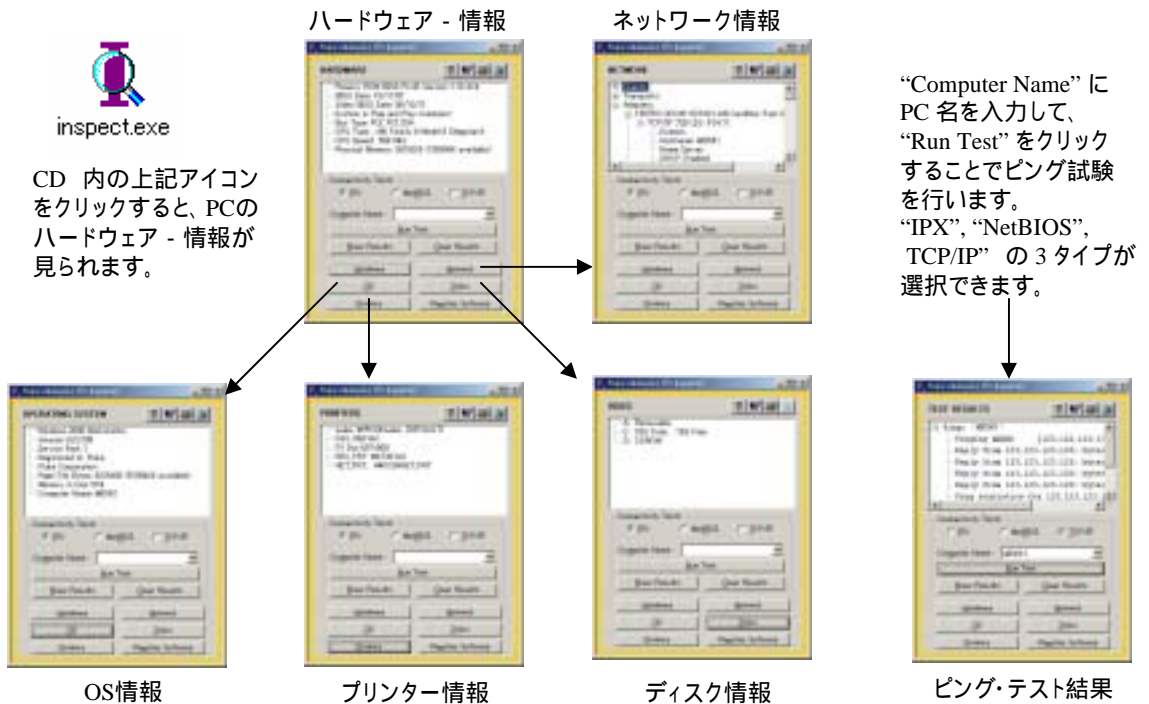
オプションで充電式バッテリーとチャージャーが用意されています。



バッテリー・チャージャー  
および NiMH バッテリー

## 9. PC インスペクター・ソフトウェア -

オプションで PC インスペクター・ソフトウェア - が用意されています。  
PC のハード/ソフト状況が簡単に分ります。コンパクトなサイズなので  
FD に入れて持ち運ぶこともできます。



## 10. ソフト・キャリング・ケース

オプションで LinkRunner 本体とその他オプションが収納できるキャリングケースが用意されています。  
LinkRunner 本体と上記で紹介した 1 ~ 10 までのオプションがセットになったお得な LinkRunner 拡張型  
テスト・キットも用意されています。

オプション  
収納例



## 11. ベルト・クリップ・ホルダー

LinkRunner を WEB 上から製品登録することで、  
本体を保護するベルト・クリップ・ホルダーを  
進呈しています。下記アドレスより登録することが  
できます。 <https://myvision.flukenetworks.com/register>

ホルダーを取付けた  
LinkRunner

